目から鱗 MUSIC

春の歌集

手嶌葵（てしまあおい）

春、4月。春といえば出会いと別れの季節である。また旅立ちの季節でもあり、新たな命が芽吹く季節でもある。今回紹介する手嶌葵の『春の歌集』は、そんな春にふさわしい明るさと切なさを備えた作品である。

手嶌葵の特長は何と言ってもその歌声にある。決して他に似たもののない、彼女だけの声。澄みきって美しく、どこか悲しみを抱きながら、それでいて聴いていると体の底から気力が静かに湧きあがってくる、そんな声である。2006年に公開された映画「ゲド戦記」で主題歌「テルーの歌」を歌い、またヒロインであるテルーの声優を担当している、と言えばその印象的な歌声を思い出す人も多いのではないだろうか。

「春の歌集」は手嶌葵の2ndアルバムで、収録されている8曲それぞれが違った春の一場面を描き出している。今回はその中から2曲を紹介しよう。

～卒業式～

あぁ　今日は　卒業式
境界線を乗り越えて
これからは　それぞれの道
少しだけ荷が重い

卒業し、これから新たな日々を歩んでいくことへの希望や不安、そしてこれまで歩んできた日々への郷愁を歌う「卒業式」。誰もが共感できる普遍的な詞、ふわりと包み込むような柔らかいメロディ、そして手嶌葵の優しい歌声。そのすべてが重なって、甘酸っぱい春の景色を呼び起こしてくれる。

～花びら～

花びら　まぶしい目で見上げた
誰よりも遠くあの空に舞うように

春風に花びらが舞う中、別れゆく友と再会を誓いあう「花びら」。明るい春の陽ざしを思わせる詩、ピアノが描く軽快なメロディに加え、どこか陰りのある手嶌葵の歌声が、ただ単純に「明るい」だけでは言い表せない春の1ページをつむぎだす。

収録曲

1．岸を離れる日
2．風の唄
3．徒然曜日
4．月のかけら
5．卒業式
6．花びら
7．心の調べ
8．願いごと

ヤマハミュージックコミュニケーションズ
定価：1,890円（税込）

どの曲を聴いても、透き通るような歌声とともに、美しくも儚い春の情景が鮮やかに浮かび上がる。このせわしない時流の中、時にはふと眼を閉じて、そんな春の景色に浸ってみるのも一興ではないだろうか。　（MOD）

かんたんCooking

ニンニクトースト

今回は、ニンニクとニラを使って手軽にできるトーストです。軽食やおやつとして作ってみてはいかがでしょうか？　（MI-KO）

材料（1人分）

食パン	1枚
スライスチーズ	1枚（15g）
ニンニク	1片
（スライスの場合	4～5枚）
ニラ	1～2本
塩・コショウ	少々

作り方

①チーズとニラを小さく切り、ニンニクを細かく刻む。
②チーズ、ニンニク、ニラの順でパンに乗せ、オーブントースターで焼く。
③パンに焦げ目がつくまで焼いたら、塩・コショウを振ってできあがり。

はみだしすてーじ

今の俺には定額給付金より生協オンバリュー券。
⇒額が違いますよ、額が。

（理・院　もぐら）
（実は格も……ですか？；編）